

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2020年1・2月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第611号

「わたしは若いときから日本に共感と愛着を抱いてきました」。昨年(二〇一九年)来日したローマ教皇フランシスコは、日本に到着後すぐの日本の司教団との会合で、満面の笑みを湛えながらこのように語りかけた。

一般出版社発行のカルンダーでさえ飛ぶように売れるほどの人気を誇る教皇だが、かつてのアルゼンチン軍事独裁政権と対峙した本名ホルヘ・マリオ・ベルゴリオ師には、何ものにも動じない強面の一面もある。

その姿勢は、違法薬物から若者たちを救う活動の最中に殺された司祭の追悼ミサで、「マフィアに属する者はキリスト教徒として生きることはできない」と説き、「変わりなさい。自分自身やお金のことを考えるのをやめ、悔い改めなさい」という発言にも遺憾なく発揮されている(シチリア島での説教、二〇一八年)。自分のいのちをも顧みずに強烈なメッセージを語りかける、ロックスター教皇と称えられる所以である。

ヨハネ・パウロ二世以来二度目となる今回の教皇訪日の

テーマは、回勅『ラウダート・シ』の祈りより「すべてのいのちを守るため」であった。実はこの内容は、今世紀初頭に、日本の司教団から一般に向けて発表された『いのちへのまなざし——二十一世紀への司教団メッセージ』(カトリック中央協議会)にまで遡る。「聖書からのメッセージ」「揺らぐ家族」「生と死をめぐ

## ローマ教皇のまなざし



関東連管委員  
進藤 重光

る諸問題」を扱った本書は教文書としては珍しく版を重ね、数年前には全面改訂と共に「環境」「原子力発電」「格差と貧困」「差別」「戦争・暴力」などが加えられ、増補新版が刊行されている。この「すべての人が与えられたいのちを十全に生かせることができるように」(増補新版のための前書き)とのメッ

無駄遣い「本来それは、人々の全人的発展と自然環境の保全に使われるべきもの」と述べ、「これらは神に齒向かうテロ行為だ」と明言。日本二十六聖人殉教地での、「世界の隅々に至るまで、信教の自由が保障されるよう声を上げましょう。また、宗教の名を使わずすべての不正に対しても声を上げましょう」との呼びかけや、長崎のミサでの、主の苦悶に寄り添うとき、「いつでもどこにおいても救いを差し出すという主の生き方を

確かめることになる」との言葉にも明確に表れている。それは広島市の平和記念公園でも続いた。「戦争のために原子力を使用することは、現代において、犯罪以外の何ものでもありません」「核兵器の保有は、それ自体が倫理に反しています。五万人が集った後楽園ドームでのミサでは、教会が「いのちの福音を告げる」とは、「傷のいやし」と、和解とゆるしの道を、つねに差し出す準備のある、野戦病院となる」ことだと強調。大震災の被災者には、「私たちにもっとも影響する悪の一つは、無関心の文化です。家族の一人が苦しめば家族全員がともに苦しむという自覚をもてるよう、力を合わせる」必要性に言及した。

これらのメッセージを結び合わせれば、教皇と青年たちとの対話での「だれのために生きているのか。だれと、人生を共有しているのか」と自分にいつも問いかけるよう促す語りかけとも重なりつつ、「いのち」と「コムニオ(一致・交わり)」の共鳴が感じられるに違いない。

(公益財団法人東京YMCA監事)

関東活動センター

●2019年度 関東フォーラム今日的課題II  
「ジャーナリストがその本音を語る」第2回  
佐々木宏人さんに聞く

「著書『封印された殉教』について」

講師：元毎日新聞中部本社代表 佐々木宏人さん

2019年11月29日(金)  
会場 カフェスナック「VIA」



11月29日(金)の夜、第7回「ジャーナリストにその本音を聞く」が、日本キリスト教会館近くの喫茶室で開催された。この企画は、ビールやコーヒーなどを飲みながら編集者やジャーナリストにその本音を語ってもらうという少人数のプログラム。

今回のゲストは、元・毎日新聞記者の佐々木宏人さん。佐々木さんは、カトリック信者で、昨年『封印された殉教』

(フリープレス)を刊行されている。

1945年8月18日、すなわち終戦3日後にカトリック横浜教区長戸田帯刀神父が、司祭館で何者かに銃殺された。使用された拳銃などから軍の関与が強く疑われたが、敗戦直後の混乱もあって、結局迷宮入りになった事件である。しかしその真相究明に、当時のカトリック教会上層部が及び腰だったのだ。それは何故かという謎をめぐって取材を進めている。戸田神父の少年時代から始まり、カトリック信仰との出会い、開成中学から小神学校に進み、ウルバノ大学へと留学、叙階されて帰国後、いくつかの小教区を経て、札幌教区長としての働きと治安維持法違反での

逮捕、そして戦時下の横浜教区長に就任・・・と、その生涯の歩みを丹念に跡付けている。その探索は、ヴァチカンの極秘資料やアメリカ公文書館にまで及ぶ入念なものである。

「カトリック教会では、400年前の殉教者のことはいろいろ調べて福者に列福する運動には熱心ですが、70年前の殉教者についてはほとんど無関心なんです。それは何故か。戦時体制に抵抗して札幌教区長時代に逮捕されたこともある戸田神父の足跡が明らかになると、その当時のカトリック教会の実情が暴かれることになるからではないか」と佐々木さんは語る。

広報不足もあって参加者が少なかったのは残念だったが、戸田事件だけでなく、戦時下のカトリック教会の弾圧やその実情を詳しく知ることができた貴重な機会であった。(戒能信生)



謹賀新年

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 中村 信博

評議員 神崎 清一 理事 石田 光男

木原 活信 小原 克博 戒能 信生

西原 廉太 増田 琴 神田 健次

柳井 一朗 監事 原 牧人

横野 朝彦 黒岩 裕二

棟方 信彦 (五十音順)

関東活動センター 関東運営委員長 戒能 信生

所長代行 原 牧人

関西セミナーハウス活動センター 関西運営委員長 山崎 和明

所長代行 榎本 栄次

経営委員長 神保 正男

館長 森口 明洋

事務局 事務局長 奥田 豊

職員一同

本部事務局

職員一同

関西セミナーハウス活動センター

●2019年度

関西セミナーハウス

もみじまつり

2019年11月23日(土・祝)

共催 関西セミナーハウス



多くの方々のご協力を得て、今年度も大過なく「もみじまつり」を開催できた。当日は、とても暖かな日差しに恵まれた。参加者は、照る山もみじを愛でながら、三席それぞれの趣向のお茶席



と、邦楽席(箏演奏)を巡り、新進日本画家、佐々木真土さんの作品展「ガンジス河を巡る」では幅14mを超える大作などを鑑賞して、インドの人々や風土を感じ、コンサートでは、民族楽器奏者ロビン・ロイドさんによる、アフリカやアジア各地の楽器の自在な演奏で、「森の音、地球の音、心の音」を聴いた。

今回新たな試みとして、テラスに2つの屋台が並んだ。一方の、プチ・ドイツ・ゲル



メには、ドイツビールとホットワイン、ソーセージにホットドッグ、もう一方は、きのこ鍋、特製スイーツ、おにぎりで経験のないほど気温が上昇し、温かいものより、ビールに人気があった。

●2019年度「開発教育セミナー」第5回

「在日コリアンの歴史から学び、未来を考える」

フィールドワーク(八瀬・岩倉エリア)とセミナー

元京都大学教授、同 志社大学非常勤講師 水野 直樹さん

2019年11月30日(土)〜12月1日(日)

フィールドワークでは、ケーブルカー線路建設の難工事や私たちの暮らしを支えてきたインフラ工事に戦前から実に多くの朝鮮人労働者が携わっていたことや朝鮮半島と日本とが古来から密接な関係にありながら、多大な犠牲を強いてきた歴史の歩みが神社の石碑などに残されていることから、日本社会の現在の有り様につながっていることがわかった。

第2セッションでは、戦前どのような経過で朝鮮半島から200万人を超える人たちが日本に渡ってきたのかを考えた。耕作地を奪われた最下層の貧困層だけでなく、日本からも70万人が公務員・警察・教師などとして半島に渡ったため、仕事を奪われた人たちも日本に渡ってきたことなどがわかった。

第3セッションでは、西陣



織など日本の伝統産業にも多くの朝鮮人労働者が関わっていた話などを聞いた後、元徴用工判決について考えた。日本政府は日韓協定で解決済みとしている一方、慰安婦問題なども残っている問題があることも政府は認めている。個人の損害賠償や慰謝料の請求については、大法院判決を尊重し誠実に対応する必要があると強く感じた。

水野さんは、専門用語をあまり使わず身近な事象と繋げながら、わかりやすくお話をされ、まだまだ聞きたいという感想が多かった。

プログラム案内

◆関東活動センター

■2019年度聖書を読む講座I

新しい聖書の学び「マルコ福音書をジックリと読む」(第2期)(全10回)

講師:山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時:◎2月4日火曜18:30~20:00

会場:早稲田奉仕園スコットホール222

参加費:1,200円/学生500円

共催:早稲田奉仕園

■2019年度聖書を読む講座II

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読むーこの時代の中で、聖書からのメッセージを読み解くー」

第1期「イエスの教えと生きざまー福音書から」

講師:上林順一郎さん

日時:④1月29日、⑤2月26日

水曜 14:00~16:00(全5回)

会場:早稲田奉仕園セミナーハウス101号室

参加費:1,000円/学生500円

共催:早稲田奉仕園

■2019年度関東フォーラム今日的課題II

「ジャーナリストがその本音を語る」第3回 川畑泰さんに聞く「英字新聞記者としての経験から」

講師:川畑泰さん(元「ジャパン・タイムズ」論説委員長)

日時:2月14日(金)18:00~20:00

会場:カフェスナックViA(新宿区西早稲田2-3-21)

参加費:1回1,500円(ワンドリン

財団本部 http://www.academy-nippon.com
関東活動センター http://www.academy-tokyo.com
関西セミナーハウス http://www.kansai-seminarhouse.com/
関西セミナーハウス活動センター http://www.academy-kansai.org

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

本部事務局
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス/
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス
TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com
関西セミナーハウス活動センター
TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

ク付き)

■2019年度研究会

「さらに豊かな礼拝のために~言葉をお届けるトレーニング」(全10回)

講師:友野 富美子さん(日本キリスト教団吉祥寺教会担任教師)

日時:◎2月18日、◎3月17日

火曜 18:00~20:00

会場:日本基督教団巣鴨ときわ教会

参加費:1回1,200円

◆関西セミナーハウス

■月釜「清心会」

日時:2月9日、3月8日

日曜 9:00~15:00 受付

於:関西セミナーハウス

年会費:4,000円、臨時会費1,000円

◆関西セミナーハウス活動センター

■2019年度修学院フォーラム「福祉」

第2回「福音家族」について

講師:晴佐久 昌英さん(カトリック上野教会・浅草教会主任司祭、「福音家族」主宰)

日時:2020年2月22日(土)

13:30~17:30

会場:関西セミナーハウス

参加費:2,300円 学生500円

(コーヒー付)

関西セミナーハウス<修学院きらら山荘>
京都・比叡の麓、四季折々にー
宿泊研修、会議、個人様ご宿泊にも。
TEL 075-711-2115 (代)

賛助会費・寄付金報告

2019年12月1日~12月31日(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費

松浦 茂長 5,000
島田 治夫 2,500
東矢 高明 5,000
ランデス ハル 5,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

毛利 亮子 3,000
蔭山 淳 10,000
斎藤 潤 3,000
小林 義彦 3,000
最上 光宏 2,000
河原田 美哉子 5,000
小林 誠治 10,000
横浜雙葉中学・高等学校 20,000
松本 誠 5,000
大石 貞子 2,000
萩原 好子 5,000
恵泉女学園中高・宗教部 20,000
石川 憲彦 10,000
高柳 允子 1,000
飯田 庸子 2,000
ランデス ハル 15,000

神学生プログラム寄付金

古賀 暢子 5,000
神田 健次 5,000
関西学院大学神学部後援会 20,000
桃井 明男 5,000
萩原 好子 5,000
市川 邦雄 5,000
松下 起子 1,000
吉崎 聆子 3,000
島田 治夫 2,000

◆関西セミナーハウス

寄付金

柴田 賢司 10,000
神田 健次 5,000
野嶋 和雄 10,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

蔭山 淳 10,000

伏見一麦教会 10,000
脇坂 照世 5,000
木原 諄二 5,000
白方 誠彌 10,000
寄付金(クリスマス寄付金を含む)
匿名 5,000
山本 良昭 10,000
和田野 勢津子 5,000
山添 みどり 3,000
家形 日出 5,000
小久保 正 10,000
間瀬 啓允 3,000
手銭 秀夫 5,000
林 律 10,000
藤田 敦子 5,000
宗教法人国際シャローム・キリスト教会 4,000
中村 信博 20,000
浦 晴子 10,000
日本基督教団希望ヶ丘教会 10,000
菅 恒敏 3,000
武田 正一 3,000
中西 綾子 3,000
樋口 よう子 10,000
坂口 みどり 3,000
日本キリスト教会吉田教会 5,000
川北 かおり 10,000
多田出 佳代子 1,000
神戸女学院ハニ一会 糸原由美子 20,000
榎本 栄次 20,000
木原 諄二 5,000
春名 康範 10,000
鳥井 清司 5,000
鳥井 操 5,000
東 千代 2,000
島田 恒 5,000
杉本 尚司 2,000
岩坂 二規・泰子 3,000
日本キリスト教団和歌山新生伝道所 3,000
真鍋 裕子 3,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。